

平成29年度 病虫害発生予察情報

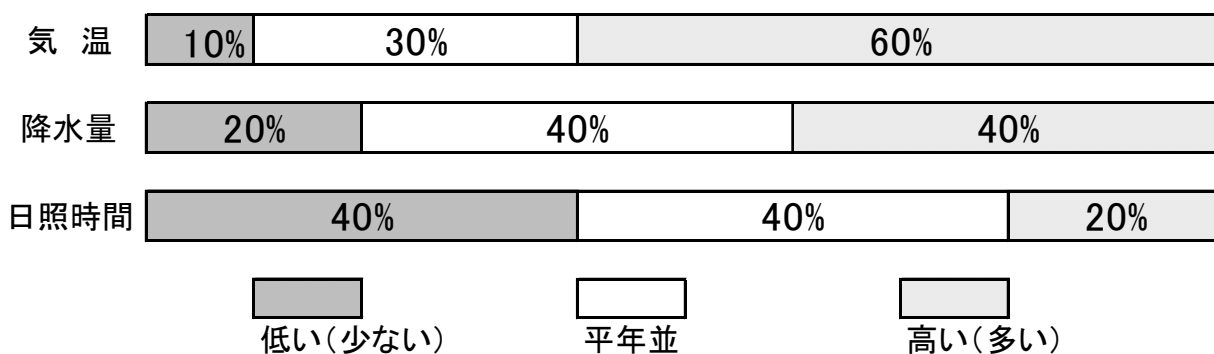
発生予報第8号（10月）

平成29年10月 6日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	平年並～やや多い
		菌核病	平年並～やや多い
	アブラナ科野菜	コナガ	やや少ない
		ハスモンヨトウ	やや少ない

中国地方1か月予報(10月7日～11月6日・広島地方气象台10月5日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方

県内カキ栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

①9月1半旬から9月6半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は181頭（平年237.9頭）と平年並みである。

②9月下旬の巡回調査での累積被害果率は5.4%（平年5.6%）と平年並みである。

③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

①9月28日現在、巡回調査ほ場において発生は確認されておらず（平年発生ほ場率1.3%）、全般の発生量は平年並みである。

②ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生はやや少ないと予想されている。

③10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 9月28日現在、巡回調査ほ場において発生ほ場率4.5%（平年発生ほ場率2.3%）で平年並みである。
- ② 10月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 現在のアブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹の発生ほ場率は10.0%（平年19.9%）、寄生株率は1.0%（平年2.3%）でやや少ない。
- ② 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① フェロモントラップによる7月初めから現在までの累積雄成虫誘殺数は、県東部で244頭（平年1040頭）、県西部で1205頭（平年1603頭）と平年に比べ少ない。
- ② 現在のアブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生ほ場率は0%（平年25%）、寄生株率は0%（平年3.54%）と低い。
- ③ 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

島根県病虫害防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL : 0853-22-6772

FAX : 0853-24-3342

ホームページアドレス :

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/